

山崎大樹さん

腎臓内科医長、糖尿病・腎センター医長  
専門は腎臓

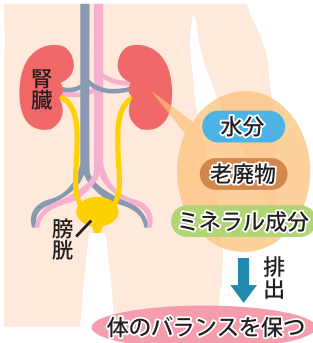
原因が何であれ、長い年月をかけて腎臓が壊れていく病気のことを「慢性腎臓病」と呼びます。英語では「chronic kidney disease」と略されます。「CKD」と略されます。血液検査の結果、腎臓の働きの数値が低かったり、尿検査で尿蛋白

が検出されたりして腎臓に異常があることが分かると、CKDと診断されます。患者は国内に1330万人います。これは成人の8人に1人で、新たな国民病ともいわれ問題になっていきます。

**腎臓の大切な役割**

腎臓は、尿を作る役割を果たしています。尿には水分のほかに老廃物やミネラル成分などが含まれています。腎臓は、その日食べたものからいらぬものだけを尿の中に捨て、体のバランスを保つてくれているのです。

## 慢性腎臓病



## 健診で早期に発見・治療を

腎臓が壊れてしまうと、飲んだ水が体内にたまり続け、体中がむくみ、肺が水浸しになり、呼吸ができなくなってしまう。老廃物が体にたまることになり、食欲がなくなってしまう。カリウムというミネラルが体にたまりすぎると、筋肉をうまく動かせなくなり、最後には心臓

が止まってしまいます。ここまで腎臓が壊れてしまうと「透析療法」や「腎移植」などが必要になります。ほかに、腎臓の働きが弱つてくると心筋梗塞や脳梗塞などの病気にかかりやすくなることも分かっています。

**自覚症状なくても進行**

徐々に壊れた腎臓を

元に戻す治療は、今の医療にはまだありません。透析が必要になるのを防ぎ、心臓や脳を守るために、腎臓が壊れきってしまう前に治療を始めることが大切です。

腎臓は多少壊れても症状が出ないため、症状が出た時にはかなり病状が進んでいる可能性があります。高血圧や糖尿病などの生活習慣病とは無縁だと思っている若い人でも、ほかの病気が原因で腎臓が壊れ始めている場合があります。

自覚症状のないうちからCKDであることを知り、早く治療につなげるためには、健康診断を受けることが大切です。CKDは簡単な血液検査と尿検査で調べることができま

CKDと診断されたら、必ず医療機関を受診してください。特別な治療が必要な病気がないかを調べたり、食事療法や運動療法について相談したり、高血圧や糖尿病などの治療をしたりします。

治療中の患者さんは、症状がないからといって通院をやめずに治療を続けてください。腎臓が壊れきってしまう前にしっかりと治療する今の行動が、10年、20年後の生活を変えるかもしれません。